



アサヒグローバル株式会社 代表取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長

文／久保川 義道
text:Yoshimichi Kubokawa

『テキサス不動産』の表と裏(その3)

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める！
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ
agg-hd.co.jp

asahiglobal.co.jp
Lsuper-chintai.com
goldtrust.co.jp
Lotona-souzoku.com
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

私が主催する『テキサス大家の会』と『テキサス不動産被害者の会』は存知でしょうか。10月1日にホームページが開設されていますのでご覧ください。

私は40年以上の事業の経営の中で、だいたい全ての事件やトラブルを経験しています。手形不渡り、各種詐欺、不動産不正取引、反社会的勢力との戦い、海外での訴訟事件：その他数々(5億円の現金を盗まれたり、35億円の不正キャンセルなども体験しています)。

しかし私は、民事事件と刑事事件で20件以上の戦いをして、二度も裁判で負けたことはありませんでした。それは当然ですね。私は一切悪いことはしていませんし、そもそも被害者の立場ですから負けることはありません。私は裁判などでの戦いでも負け知らずのプロだということです。しかしある時に、信頼している最高に能力のある『弁護士・の先生』が私に言ったのです。『久保川さん、いつも正義が勝つではありませんよ。』
正義や正しい事、正しい人達が裁判では負けるのだと教えていただきました。

警察は基本的に『民事事件不介入』ですから、余程の証拠があつて、

そうすると民事事件ですから裁判所での『損害賠償』の請求しかありません。もう1つ難しいのが、これが日本以外のアメリカですと、もつともっと大変なのです。

日本の裁判とは全く違うのです。例えば私の体験したハワイでの訴訟ですが、悪いやつが固定資産税を滞納した物件を私に販売しました(これは仲介した不動産業者のミスなのですが)。300万円の損害の裁判をすると5年間かかります。そして弁護士費用が3,000万円なのです。弁護士から『どうしますか?』と聞かれて、私は即決で『やめます』と答えましたね。
ということでアメリカでの裁判は大変な労力と時間とお金がかかるんだとご理解ください。

さて、負け知らずの私でも、アメリカでの訴訟は自信がありません。ではどうすればいいのでしょうか...(?)その答えが

それは次回の『その4』でプロの私がお話しいたしますので、ご期待ください。

わくわく

夢

ニュース【土地活用】

2018

11月
No.071

地域No.1の地下付き
デザイナーズマンション!

5戸×3階 15世帯 80・160㎡ 2LDK・4LDK

80㎡と広い専有面積で、ゆったりとした生活が楽しめます。
1階には、同じ広さの地下室が付き、戸建住宅と変わらない空間です。

